



The Service Club for the YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU
Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 3-10-7, Chuo Kofu 400-0032 Japan
Tel 055-235-8543

国際会長主題:「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク(ノルウェー)

“Waking the Sleeping Giant with Blue Music”

アジア地域会長主題:「アジア太平洋地域をブルーミュージックで目覚めさせる」ラチャン・マニーカン

“Awakening the Asia Pacific Area with Blue Music”

東日本区理事主題:「挑戦なくして進化なし」山下 真(十勝)

あずさ部長主題:「親睦とCS活動を部の原動力として外へ飛び出そう!!」大和田浩二(松本クラブ)

甲府クラブ会長主題:「笑顔で集い、楽しく奉仕」=YMCAと共に歩む〜気負わない奉仕と親睦= 小倉恵一

甲府クラブ

2026年9月 会報

●今月の強調目標

EMC

■今月のことば■

「継続は力なり」

渡辺徳之 選

9月 甲府・甲府やまなみ 合同例会

日時: 2026年9月2日(水) 18:30~20:30

担当: やまなみクラブ

司会: 米山俊彦(甲府やまなみ副会長)

会場: 山梨YMCA3階ホール

開会点鐘 甲府やまなみ会長

ワイズソング・ワイズの信条

ゲスト・ビジター紹介 司会者

会長挨拶 甲府やまなみ会長 松本公夫

甲府クラブ会長 小倉恵一

部長挨拶 あずさ部部长 大和田浩二

ワイズディナー

ゲスト卓話

「山梨YMCAの不登校問題への取り組み」

山梨YMCA南西教室管理者・教育心理研究所代表

土肥満 様

諸報告 両クラブ

ハッピーバースディ&アニバーサリー

YMCAの歌

閉会点鐘 甲府クラブ会長

◆◆◆ 巻頭メッセージ ◆◆◆

9月を迎えて～防災の日を考えること～

9月に入りました。まだまだ暑さの残る日もありますが、朝夕には少しずつ秋の気配を感じるようになりました。

9月1日は「防災の日」です。今から103年前の1923年9月1日、関東大震災が発生しました。この大きな災害の教訓を忘れず、一人ひとりが災害について考え、日頃から備えることの大切さを改めて確認する日です。

日本では、地震だけでなく、台風や豪雨、洪水、土砂災害など、さまざまな自然災害が起こります。特に9月は台風への備えも大切な時期です。

災害はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、普段の生活の中で準備をしておくことが大切です。

防災の日をきっかけに、非常食や飲料水の備蓄、懐中電灯、携帯電話の充電方法、避難場所や避難経路などを、もう一度確認してみたいでしょうか。家具の転倒防止やハザードマップの確認など、身近なところからできる備えもあります。また、家族が離れた場所にいるときに災害が起きた場合、どのように連絡を取り合うのかを話しておくことも大切です。

そして災害が起きたときには、自分の身を守る「自助」だけでなく、地域の人たちがお互いに助け合う「共助」も大きな力になります。普段から顔を合わせ、声を掛け合える関係をつくっておくことも、一つの防災と言えるのではないのでしょうか。

防災は、特別なことではなく、毎日の暮らしの延長にあります。9月を迎えたこの機会に、「もし今、災害が起きたら自分はどうするだろう」と、一度考えてみたいと思います。

備えること、そして人と人とのつながりを大切にすること。それが、いざというときに自分や大切な人の命を守る力につながるのではないのでしょうか。

例会出席

会員数 16名
メン12名 出席率75%
メネット2名 合計14名

8月納涼例会

丹後さんから「昼に例会をしますが出席出来ますか？」と連絡を頂き「調子が良ければ出席します。」と返事をし、3年ぶりにお昼に丹後さんの送迎でY'sの例会に出る事が出来て嬉しく感激し、感謝の一時でした。久しぶりの出席に皆様が暖かく迎え入れて下さり、お一人お一人とお話しが出来て懐かしく嬉しく涙、涙でした。まだもう少し治療が続きますが、無理の無い程度に動き、又、Y'sの例会に出席したいと思っています。山梨YMCAを支えるメンバーとして、出来る限り協力したいと思いを強くしました。又、休んで居る間もブリテンを届けて下さった小倉さん、ブリテンと共に野菜を届けて下さったピーターさん、本当にありがとうございました。メンバーの皆様のご活躍とご健康を祈りつつ…。又、お目にかかるのを楽しみにしています。ありがとうございました。



8月役員会報告

日時 2026年8月25日(火) 19:00～20:00

場所 山梨YMCA 内

出席者 小倉・田中・ピーター・マウントフォード・標

1開会あいさつ 小倉恵一 会長

2報告事項

・あずさ部評議会 長野市

8月1日 参加者 小倉 標 ピーター

・YMCAスカウト交流訪問 山梨YMCA

参加者 小倉、金丸、田草川、中田、渡辺

・8月例会(納涼例会)会員一言

8月11日(火)11:00～13:00 うなぎ割烹横内

参加者メン12名 メネット2名

・8月23日(日)に東京多摩クラブの10周年記念例会がZOOMを使って行われ、甲府クラブから小倉会長が参加しました。

3協議事項

・9月例会について

日時9月2日(水) 18:30～20:30 やまなみクラブが幹事

場所 山梨YMCA3階 会費の1,500円は会から出す

28日までに仙洞田さんに出席者を連絡する

4その他

◎富士山例会 9月26日～27日

富士五湖クラブ主催で行う。

連絡して出欠を確認。

小倉、ピーター・マウントフォード、田中が参加予定。

◎甲府21クラブのぶどう棚例会へは甲府クラブから

小倉会長が出席。

◎10月22日からの台湾へ行く計画が発表された。

◎甲府ワイズへのメールでの連絡について、

9月例会の開催連絡メールで必ず返信してもらい確実に

会員に届いているか確認する。

5閉会あいさつ 小倉恵一 会長



スカウト交流訪問記録報告会

渡辺徳之

台南YMCAボーイスカウトと山梨YMCAボーイスカウトとの交流は1982年(43年前)に台南の劉克全氏(台南YMCA総主事)と山梨YMCAの大沢英二総主事のご尽力により始まりました。

この間に、相互交流が10回ほど開催され多くのスカウト達(主に小学生)と指導者等が参加されました。

私も何度か参加し実りある交流と良き思い出を作ることが出来ました。

今回の報告会は、8月8日に山梨YMCAで開催され、この間の記録を劉克全氏がスライドにまとめて思い出を振り返りました。

この会に台南から、劉克全氏を始め、陳震芳氏、王子恆氏の3氏が来日し、山梨YMCAからは中田純子総主事を始め、大和田浩二元総主事、野々垣理事長、台南交流に参加した指導者スカウト、ボーイスカウト関係者等30名程が参加し当時の思い出話に包まれました。

この交流は、単に台南YMCA・山梨YMCAのボーイスカウト間の交流に留まらず、この交流を通じて台南YMCAと山梨YMCAとの絆を一段と深め活動の輪が広がることを願っております。

尚この集いに当クラブから、中田純子・小倉恵一・田草川すみ江・金丸三郎・渡辺徳之の5名が参加しました。

今月の言葉について

「継続は力なり」

渡辺徳之

この言葉は古くから言い伝えられています。誰が言った言葉かわかりませんが、自分自身の過去を振り返ってみると、あの時どうして辞めてしまったのか?と思う事が幾つかあります。何事も長く継続して行く事は心身共に大変な努力を要しますが今後心がけて行きたいと思います。



『銀河鉄道の森から「わくわく」を育む未来へ』

山梨YMCA総主事 中田 純子

9月、防災を強く意識する季節です。この夏の連日の猛暑や豪雨に加え、熊本地震や千葉豪雨の記憶、気候変動や気温上昇、連日のクマ出没など、自然の調和が大きく揺らぐ日々が続いています。「壊れた自然の循環を取り戻せるのか」という大きな問いの前に立つとき、私たちは「すべての命はつながり、生かされている」という原点に立ち返られます。かつての姿にすぐ戻すことは難しくても、自然への敬意と命の尊さを心に留め、変化した環境に適応しながらたくましく生きる工夫が今、求められています。

向き合うためのカギであり、心豊かに育つための魔法の言葉は「わくわく」です。

YMCAが大切にしてきた「Spirit, Mind, Body (スピリット・マインド・ボディ)」をフルに呼び覚まし、森の中で風に押され、仲間と協力して試練を乗り越える。自然の恵みと厳しさの両方を全身で受け止め、心躍らせ「わくわく」の体験を重ねること。それこそが、いざという時に自分と他者の命を守る「本物の知恵」へと変わっていきます。

自然を愛し、慈しみ守ることこそが、私たちが地球に届けられる最高の「恩返し」です。そんな命と出会う冒険の舞台が、山梨YMCAの「銀河鉄道の森」にあります。

創立80周年記念「施設整備募金2026」のスタートに伴い、「まだ見ぬ森の見学会をしよう。」「東屋がないのであれば、作っちゃおうじゃないか」「あの森にいろいろな人を招こう」と少年のように目を輝かせたワイズメンの皆様から熱いお声をいただきました。

これまでも試練のたびに温かい言葉と祈りと募金で支えてくださった皆様の情熱という「わくわく」と、この森に集う子どもたちの「わくわく」の好奇心が重なり合う時を想像すると、私自身胸が躍り、未来への希望の光が差し込んできます。

この大切な拠点をどのように生かすのかが試される今、「施設整備募金2026」へのご協力をよろしくお願い申し上げます。「どんなところ？」と心が「わくわく」された方、ぜひ山梨YMCA生涯学習事業までお気軽にお問い合わせください。

「わくわく」を育む希望の未来へ向かって共に歩んでまいりましょう。

小倉恵一

8月23日（日）16時からZoomで開催された「東京多摩スマイルクラブ10周年記念感謝会」に参加しました。

参加者に負担を掛けないようにクラブの周年行事をZoomだけで開催するという、初めての試みに興味津々で参加しました。当日は、画面の氏名表示は「クラブ名 氏名」に統一されて非常にわかりやすく、各人が飲み物を片手に一斉乾杯をしてスクリーンショット撮影したり、全員に一言メッセージの時間が設けられたりと工夫された進行でした。オンラインでありながらも参加者の一体感がある和やかな会となり、「こういう形もありなのだな」と感じました。

式典は、開会あいさつ、開会点鐘、ワイズソング、開会祈祷、クラブ会長挨拶、10年の歩み（映像）、祝辞（東京YMCA総主事、東日本区理事、スポンサークラブ会長、東新部部長）と続き、前述の乾杯が行われました。

記念講演は『家庭菜園のススメ』と題し、NHK Eテレ「やさいの時間」講師等で有名な藤田智先生（東京多摩スマイル）でした。ご自身と野菜づくりに関わったきっかけや、家庭菜園を長く楽しく続けるコツなどについて楽しくお話いただきました。

その後、記念品贈呈（東京YMCA）、出席者紹介/ひとこと、クラブメンバー紹介、感謝の言葉、YMCAの歌、閉会点鐘と続き、予定時間を30分超過して18時に終了しました。

メンバー一人ひとりのスキルを活かし、地域に根ざした奉仕活動とYMCAへの貢献に挑戦し続け、成長している姿を学ばせていただいた素晴らしい記念感謝会でした。

Happy Birthday

9月 なし

今後の予定

9月4-6日(金-日)	YVLF	(高尾の森わくわくビレッジ)
9月10-13日(木-日)	国際大会	(マレーシア・ペナン)
9月12日(土)	ぶどう棚下例会	(甲府21クラブ)
9月26日(土)	富士山例会	(富士五湖クラブ)
9月29日(火)	9月役員会	山梨YMCA
10月13日(火)	卓話例会	山梨YMCA
10月23-25日	台南クラブ60周年記念	台南

